

令和元年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立大型児童館ビッグバン	指定管理者：一般財団法人大阪府地域福祉推進財団	指定期間：平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課：福祉部子ども室子育て支援課
---------------------	-------------------------	--------------------------	-------------------

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
			S～C		S～C	
I 提案の 履行状況 に関する 項目	<p>(1) 施設の設置目的（大型児童館A型の機能）及び管理運営方針</p> <p>施設の設置目的に沿った運営                      府内の児童館情報の把握・相互利用等や、児童厚生員・ボランティアの育成等、大型児童館A型の機能（府内児童館への指導や連絡調整、児童館活動の啓発、児童厚生員研修の実施 など）が確保されているか。</p> <p><b>※指定管理者提案 具体例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援事業の実施（28:4回実施）</li> <li>地域イベントへの参画</li> <li>児童厚生員研修の実施と参加呼びかけ（28:4日間、延べ参加者801名）</li> <li>近隣大学等の実習生受入、「講師派遣」「講師招聘」等相互連携の実施（28：実習 3校9名）</li> </ul>	<p><b>1) 大型児童館としての機能</b></p> <p><b>①児童館情報の把握、遊びの提供普及</b>                      府内4館を取材し児童館情報としてイベントチラシに掲載。                      ・吹田市立山田西児童センター（4・5号）                      ・吹田市立五月が丘児童センター（6・7月号）                      ・吹田市立千里山竹園児童センター（11・12月号）                      ・吹田市立竹見台児童センター（1・2月号）                      また、移動ミュージアムを60か所に出動し、遊びを提供（うち児童館5か所。児童館には1館あたり10万円まで当館負担制度実施）。</p> <p>-----</p> <p><b>②子育て支援人材の育成</b></p> <p>a. 児童館・児童クラブ職員が、その役割について理解と認識を深め、活動内容が一層の向上を図ることを目的として大阪府児童厚生員研修会を10、11月に4日間開催し、府内21市町村から延べ419名（昨年度589名）が参加。                      b. 実習生の受け入れ（児童厚生員・保育士養成）5校、14名（10日間）                      c. 大阪健康福祉短期大学こども福祉学科「児童館の機能と運営」講師派遣                      大阪教育福祉専門学校児童体育コース「児童館の活動内容と指導法」講師派遣                      d. インターンシップの受け入れ                      大学生1名                      e. 職場体験実習の受け入れ                      堺市立赤坂台中学校 5名                      堺市立福泉中学校 7名                      堺市立平井中学校 8名</p> <p>-----</p> <p><b>③ボランティアの育成</b>                      子どもたちへの遊び支援等を行うボランティアクルーを募集（8名新規登録）。                      現任及び新規ボランティアクルーを対象に、子ども達の遊びを支援するために必要な知識や実技、救命技能に関する講座を開催（1月と3月、3日間）。新任については、さらに実地研修も行う（2～3月、4日間）。</p>	A	<p>①イベントチラシやホームページに府内児童館情報を掲載するほか、移動ミュージアムによる地域に出向いての遊びの提供に努めている。</p> <p>-----</p> <p>②児童厚生員研修について、概ね受講者の満足を得ているが、延べ参加者数は前年度より170名減となっている。</p> <p>また、近隣大学等の実習生の受入、大学等で講義を担当、インターンシップや職場体験実習の受入をするなど、児童の遊びを指導する人材育成取り組んでいる。                      なお、実習生の受入は前年度より増加（4校→5校、10名→14名）しており、職場体験学習の受入についても（2校→3校、10名→20名）に増加しており、人材育成に積極的に取り組んでいる。</p> <p>-----</p> <p>③遊びの指導及び救急講習など適正に養成講座が実施されており、ボランティアの育成がなされている。</p>	A	施設所管課の評価について、特に指摘・意見なし。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
			S~C		S~C	
I 提案の履行状況に関する項目		<p>④歴史的資料、文化の展示、公開 昭和30年代街並みを再現し展示するとともに、街並みの「空き地」を活用し、紙芝居の定期公演（毎月第3日曜日）及び飴細工体験（月3回程度）を実施。</p> <p>⑤地域の子育て支援 a. 子育て講座（託児つき） 桃山学院教育大学・NPOと連携し、保護者及び子育て支援者向けに講座実施（年3回） ・テーマ「お金」「アイシングクッキー」「足育」（併せて学生による託児も実施） b. 子育てコンテンツの貸し出し 地域の子育てサークルへのおもちゃ等の無料貸し出し（2サークル1短大延べ4回）。</p> <p>⑥地域イベントへの参画協力 ダンスフェスタ（6月）、お仕事体験（8月）ハロウィンパレード（10月）、クリーンキャンペーン（11月）、ビッグアイ事業への移動ミュージアム協力（11月）、クリスマス（12月）、スタンプラリー協力（1月～3月）</p> <p>⑦子どもの居場所づくり こども劇団を立ち上げ。高校生ら年長児童を含む子どもたちの活動の場を設けた。19名／高校生7名、中学生3名、小学生9名（6・7月号）</p>		<p>④30年代の街並みを背景に当時使用されていた紙芝居の実演をするなど、昔の文化・歴史に触れ、学ぶ機会の提供を行っている。</p> <p>⑤子育て講座については、学生による託児の実施など、子どもを連れて参加しやすい工夫を行うとともに、多様なプログラムに取り組んでいる。また、地域の子育てサークルへの支援を行うなど、子育て支援拠点の機能発揮に努めている。</p> <p>⑥隣接施設や地域での催事にも参画し、地域連携に努めている。</p> <p>⑦こども劇団の立ち上げにより、新たな子どもの居場所づくりに努めている。</p>		
	(2) 平等な利用を図るための具体的手法及び期待される効果	<p>公平なサービス提供、対応</p> <p>〔 ・施設の利用において、平等利用が確保できているか（イベントの広報手法・受付方法等）。 ・施設の利用に配慮を要する人（障がい者等）に対し、援助が行われているか。〕</p> <p><b>※指定管理者提案 具体例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点字、外国語（英、中、韓）パンフレットの作成</li> <li>・車椅子やベビーカーの貸出し</li> <li>・障がい者、特定疾患患者等への入館料半額減免</li> </ul>	<p>1) 配慮を要する人への援助</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①点字版パンフレットの作成</li> <li>②外国語（英・中・韓）パンフレットの作成</li> <li>③ホームページを3カ国語に翻訳する機能設置</li> <li>④車椅子やベビーカーの貸出</li> <li>⑤ベビーカー置き場の設置</li> <li>⑥障がい者、特定疾患患者等への入館料半額免除+介護者1名全額免除</li> <li>⑦65歳以上の高齢者入館料半額免除</li> <li>⑧配慮を要する団体へのバックヤードの開放（資料室、館長室等）</li> </ol>	A	<p>当初の提案どおり障がい者や乳児同伴者、高齢者、外国語など施設の利用に配慮を要する人に対して細やかな対応がなされており、公平なサービス提供・対応がなされている。</p>	A

(3) 利用者の増加を図るための具体的手法及び期待される効果

利用者増加のための工夫  
 ・利用者増加のための工夫として、利用料金の工夫や、効果的な広報活動（団体・リピーター促進）を行っているか。  
 ・その他、利用者の増加・満足につながる取り組みを行っているか。

目標入館者数：年間25万人

【参考】過去5年間の入館者数					
実績	H26	H27	H28	H29	H30
	251,373	233,698	236,186	239,613	247,279

※指定管理者提案 具体例

- ・入館者の3割を占める団体利用者の誘致（学校、子ども会、自治会他）
- ・旅行代理店発行のクーポン券を利用可能とする
- ・パスポート会員への特典付与によるリピーター確保
- ・各種割引制度の実施、訪日旅行者の取込み

1) 効果的な広報活動

- ①イベントチラシ3万部程度を作成  
 概ね2ヶ月ごとに作成。小学校、幼稚園、保育園を中心に配付するとともにホームページ等で告知している。  
 さらに、年度当初には小学校、認定こども園や幼稚園等へ遠足誘致チラシを配布。（送付施設数：約4,300か所）
- ②他施設でのイベント実施と広報活動  
 ・「にぎわいマルシェ（さかい利品の杜）」  
 ・「堺まつり」に移動ミュージアムの出動と広報活動の実施。  
 ・「零士ワールドサミット IN 東京北区」への参加と広報活動の実施。
- ③鉄道ラッピング車両の運行  
 泉北高速鉄道から南海電鉄乗入れ。広域的に話題づくりを図る。
- ④ホームページのリニューアル  
 スマートフォン対応のサイトにするとともに、SSL化により安全なホームページを作成
- ⑤移動ミュージアム ア  
 出動先に割引券を配布し来館を促進。（1月末時点約1500枚配布 268名来館）

2) 団体の誘致

- ①子ども会  
 八尾市こども会施設利用助成制度との提携を継続。他市町村自治体の制度等について引き続き連携を模索している。
- ②障がい児施設  
 府内児童発達支援センター24カ所にパンフレット等配架。
- ③観光業界  
 近隣施設ビッグ・アイ主催、堺ホテル協会共催の観光業界イベントに出展及び旅行社視察の受入れ。旅行社を通じた来館者の拡大を図った。（アクシブル・ツーリズムレビュー2019）
- ④来館履歴データベースの活用 イ  
 200名以上の大規模団体の過去3年の来館状況から各団体個別に誘致活動とともにリサーチを行う。
- 3) 入館券販売の工夫（再来館促進）  
 開館20周年記念特別パスポートの販売  
 （2019.6.1～6.30）2,296名 入場7,802名  
 夏のクールパスポートの販売（2019.7.2～8.31）321名 入場713名 大人2,000円、小・中学生1,600円、幼児（3歳以上）1,200円で販売。

A

1) チラシの配布による学校団体等の利用促進を図るとともに、ホームページによる幅広い告知や企業と連携した広報を行うなどの子育て世代層へのPRに努めている。

移動ミュージアム出動先において割引券を配布し来館の促進に努め、また、その案内による来館者数を把握し効果を確認している。

2) 3) 4) 5) 団体、施設、旅行会社と連携し、来館者の誘致に取り組んでいる。

200人以上の大規模団体の過去の来館状況や感想・評価・改善要望などをデータベース化することで団体誘致に向けたリサーチを行っている。

また、開館20周年特別パスポートの販売や訪日旅行者の取込み、新たな福利厚生団体等との連携を行い、新規顧客の開拓に取り組んでいる。

S

○ホームページのリニューアルや鉄道ラッピング車両による広報などを低コストで実施するなど、積極的な広報活動姿勢がうかがえる。目標来館者数である25万人達成見込みであり、評価Sが妥当ではないか。

○来館履歴データベースについて、200名以上の大規模団体だけではなく、保育園などの遠足に多い規模(60～100人)の団体をデータベースとして追加することを検討されたい。

		<p><b>4) インバウンドの取り込み</b>          ・ 3カ国語分の施設案内パンフレットを用意、ホームページを3カ国語に翻訳する機能設置。          ・ 市内観光案内所へパンフレット送付</p> <p><b>5) 新たな福利厚生団体等との連携</b>  <b>①おもにグループや団体向け</b>          近畿地区子ども会連絡協議会 (H30.6月～)          育成カード提示でバス駐車代免除、子ども向けグッズプレゼントなど</p> <p><b>②他府県等広域的取り組み</b>          全国教職員互助団体協議会          会員証提示で入館料2割引</p> <hr/> <p><b>6) LINE の活用</b>          定期的情報配信 (月1回)。友達登録していただいた方に、平日の大人入館無料、休日のこども劇場無料などを実施し再来館を促進。(友だち登録12月末約9,378名。前年比プラス1,419名)。</p> <hr/> <p><b>7) 新メディアの活用</b>  <b>①他府県等広域的取り組み</b>          ハッピープレゼントクーポン神戸版 (夏休みイベントの紹介など)          GO-GUY TICKET (朝日新聞クーポンチラシ)</p> <p><b>②Web 広報媒体の活用</b>          大阪観光局、大阪スケジュール、いこーよ、イベントバンクなど</p> <p><b>8) 取材の受入れ</b>  <b>【TV・ラジオ】</b> J:COM、エフエム大阪  <b>【新聞・情報誌】</b> 産経新聞、読売新聞、webマガジン、サンケイリビング、神戸新聞、関西ファミリーウォーカー、堺市ウォーカー (堺市出身アイドル来館、初版5万部。増版あり)、otento (南海電鉄)</p> <p><b>9) 20周年記念特別企画</b>          館の歴史パネル展や特別ワークショップなど、これまで館に携わっていただいた方々の力を結集し、遊びの重要性を再発見。記念グッズプレゼント。(6・7月号)</p> <p>これらの取組みを行い1月末時点入館者数対前年比5%程度増。目標である年間25万人達成の見込み。</p>		<p>6) 定期的なイベント情報の発信など、SNSを活用した広報に取り組んでいる。また、友達登録者数も年々増加しており、リピーターの確保に努めている。</p> <hr/> <p>7) 8) 広報媒体の活用や、マスコミ取材を受け入れなど、積極的な広報活動に取り組んでいる。</p> <p>9) また、開館20周年記念であることを周知し、特別企画を行うなど更なる集客に努めている。</p> <p>以上のことから利用者増加のための様々な工夫をこらした取組を行っており、目標である年間25万人達成の見込みとなっている。</p>	
--	--	---	--	---	--

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
			S~C		S~C	
I 提案の 履行状況 に関する 項目	<p>(4) サービスの向上を図るための具体的手法及び期待される効果</p> <p>魅力的なプログラムの開発  <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム内容は、新たなニーズをくみ取るなど、工夫されているか。</li> <li>・屋外施設（後背地・交流広場等）を活用した取り組みを行っているか。</li> </ul> </p> <p><b>※指定管理者提案 具体例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね2か月ごとに全館事業を企画、実施</li> <li>・創造性を育む工房事業、食べ物への関心を引き出すキッチン事業の実施</li> <li>・子ども劇場で、親子一緒に楽しめる公演を実施</li> <li>・近隣保育園を対象に園外保育の受入や森の探検を実施</li> <li>・冒険遊び場として自然体験活動を実施</li> <li>・森の中で「読み聞かせ」を実施</li> <li>・フリマや子どもグッズの物々交換会の開催</li> </ul>	<p><b>1) 新たなプログラム</b></p> <p>①堺の和菓子屋さんによる和菓子づくり体験（4・5月号、地元地域の魅力発見）</p> <p>②20周年記念事業展（6・7月号）</p> <p>③ポーネンド世界の大きなあそび箱（夏休み号）</p> <p>④お金に関する展示・ワークショップ（9・10月号、消費増税にちなんで）</p> <p>⑤オリジナル世界遺産新聞を作ろう！（11・12月号、世界遺産登録にちなんで）</p> <p>⑥ニュースポーツの展示体験（1・2月号、東京オリンピックパラリンピックにちなんで）</p> <p>-----</p> <p><b>2) 屋外施設の活用</b></p> <p>①ちょっとパン 自然を活用したアクティブなプログラムを数多く実施。また、森の中で自然を感じながら絵本の読み聞かせを行う「森の図書館」を5回実施。</p> <p>②交流広場 キッズマーケットの開催（5月、10月） 堺よさこいかえる祭り（6月）</p> <p>③近隣エリア 地域イベントへの参画協力として、ダンスフェスタ（6月）、お仕事体験（8月）、ハロウィンパレード（10月）、クリーンキャンペーン（11月）クリスマス（12月）ビッグアイ事業への移動ミュージアム協力（11月）、泉州・紀北ミュージアムネットワークスタンプラリー協力（1月～3月）</p>	A	<p>1) 館の節目である開館20周年を記念した事業や、消費税増税・東京オリンピックパラリンピック開催などにちなんだ新たな取り組みを企画実施。</p> <p>-----</p> <p>2) 屋外施設を活用した様々な取組がなされ、冒険心や豊かな情操の育みに取り組みされているとともに、隣接施設や地域での共催事業にも参画し、積極的な事業展開に努めている。</p> <p>-----</p> <p>以上のことから魅力的なプログラムの企画・実施が行われている。</p>	A	施設所管課の評価について、特に指摘・意見なし。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		評価委員会の 指摘・提言
			評価 S~C		評価 S~C	
I 提案の 履行状況 に関する 項目	<p>(5) 施設の維持管理の内容、 適格性及び実現の程度</p> <p>点検・補修の適格性、迅速性</p> <p>〔 ・日々のメンテナンスや定期点検を通じ、遊具 等の維持管理、安全の確保が図られているか。 ・施設管理に必要な有資格者を配置している か。 ・迅速に施設修繕が実施されているか。〕</p> <p>※指定管理者提案 具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種届出、保守点検を励行（消防法ほか）</li> <li>・照明、音響、映像、展示遊具、舞台吊物などの定期点検の実施</li> <li>・修理修繕を迅速に実施し、来館者の快適環境の確保、地域住民の安全確保に努める</li> </ul>	<p>1) 遊具等の維持管理、安全の確保</p> <p>各種法令に基づき、これを遵守。展示遊具、照明、映像などの定期点検に加え、毎日巡回し状況確認している。</p> <p>2) 有資格者の配置</p> <p>施設管理に必要な電気主任技術者の配置、建築物環境衛生管理士を選任。</p> <p>3) 修繕の実施</p> <p>設備や遊具等の修繕は適時実施。内容により、府所管課との役割分担を踏まえ協議。安全・安心の確保に努める。</p>	A	<p>1) 2) 3) 適切に有資格者を配置し日常的な点検・定期点検の実施とともに、必要な施設の設備修繕を行うなど、利用者の安心・安全確保に努めている。</p>	A	<p>施設所管課の評価について、特に指摘・意見なし。</p>

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言	
			S～C		S～C		
I 提案の 履行状況 に関する 項目	(6) 府施策との整合	<p>提案の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・府施策への協力（府施策へ協力しているか）</li> <li>・就職困難者の雇用（就職困難者を雇用しているか）</li> <li>・府民、NPO との協働（府民、NPO と協働事業を実施しているか）</li> <li>・環境問題への取り組み（環境問題に取り組んでいるか）</li> </ul> <p><b>※指定管理者提案 具体例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者雇用率 8.51%（継続維持すべき状態）</li> <li>母子家庭の母の雇用 1名（継続維持すべき状態）</li> <li>・ちょっとパン事業をNPO と協働実施 「こども劇場」市民劇団による公演会を協働事業として実施</li> <li>・リサイクルペーパーの使用、コピーの裏面利用、館内照明の一部をLED化、工房事業で廃材利用した作品作り</li> </ul>	<p><b>1) 府施策への協力</b></p> <p>ア. お仕事体験教室「錠剤を作ってみよう」 大阪府と塩野義製薬株式会社との事業連携に基づき実施（11・12月号）</p> <p>イ. スマホアプリを使った情報発信 ダイドードリンコのアプリ「スマイルスタンド」の登録者への情報発信。</p> <p>まいど子どもカードの協賛店登録、アクティブシニアパートナー施設登録、ともに生きる障がい者展への協力（以上、福祉部）なにわなんでも大阪検定合格者割引適用、メールマガジン読者プレゼントの提供（以上、府民文化部）、など府が主催する各種事業等の広報への協力。</p> <hr/> <p><b>2) 雇用・就労支援</b></p> <p>①総務業務において障がい者（25歳男性。電動車椅子利用）1名を継続雇用。 ②大阪障害者職業能力開発校の職場体験実習の受入れ。（春期及び秋期／各2回それぞれ3日間）</p> <hr/> <p><b>3) 府民、NPO との協働</b></p> <p>府民ボランティアの受入れ、アドバイザー委員として地元自治会が参画、NPO との協働で冒険遊び場を運営、市民劇団によるこども劇場公演、中学生の職場体験受入れなどを行っている。今年度新規に[児童館とNPOの協働事業]助成を受け、こども劇団プロジェクトを実施（6・7月号）</p> <hr/> <p><b>4) 環境問題への取り組み</b></p> <p>ウッドキューブの設置により循環型社会について、また工房事業では工作に廃材を利用するなど、子ども達への啓発を行うとともに、再生紙の利用やコピーの裏面利用はもとより、バックヤードや事務室の蛍光灯の間引き、冷暖房のきめ細かな管理など、省資源省エネルギーに努める。今年度新たに3F4F遊具の一部を徐々にLED電球に移行している</p>	S	<p>1) 従前より福祉施策に限らず福祉部以外の大阪府部局の施策に協力していることに加え、新たな要請にも積極的に対応している。</p> <p>また、府が主催する各種事業等への施設登録や、割引適用・プレゼント提供などに協力するなど、より一層府施策に協力している。</p> <hr/> <p>2) 施設において障がい者の雇用を継続するとともに、職業訓練校生の職場体験実習を受け入れており、引き続き障がい者の雇用・就労支援に取り組んでいる。</p> <hr/> <p>3) ボランティア（ビッグバンクルー）による遊びの指導や市民劇団による遊び（演劇）の提供など、府民等との協働で取り組んでいる。</p> <hr/> <p>4) 遊具やプログラムを通じて子どもたちへの啓発を行うとともに、電力消費量の削減など、省資源、省エネルギー化に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>以上のことから、多岐にわたり府施策との整合が図れている。</p>	S	施設所管課の評価について、特に指摘・意見なし。

<p>(1) 利用者満足度調査等</p>	<p>アンケート結果等の運営への反映状況</p> <p>・利用者のニーズを適切に把握できているか（回数・人数等）。 ・来館者アンケートで集約した利用者の意見をサービス改善に役立てているか。</p>	<p><b>1) 来館者アンケート</b> (実施期間：H31年4月～令和2年3月) アンケート用紙の設置だけでなく、スタッフによる声かけを行うなど、回収率を高めるよう努めた。また、アンケート結果（H30年度分）についてはHPトップページへ掲載した。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ウ</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">エ</span></p> <p>※12月時点集計 【回収】大人 255枚 子ども 799枚 【結果】 ・大人 総合的満足度 大変満足＋満足=79.2% ・子ども また来たい 90.8% 来たくない 1.4% 点数90点以上 77.6% 50点以下 1.9%など、概ね好評を博している。</p> <p><b>2) 子どもたちの意見を聴く</b> 子どもの権利条約に関連し子どもの意見をできるだけ尊重するためアンケートのみならず、直接子どもたちの意見を聴く場を設けた。62名</p> <hr/> <p><b>3) アンケート結果を踏まえた取組み</b> ①大きなキャンバスを用意し自由にお絵描きがしたい。 →「のびのび！おえかき劇場」を実施（11・12月号） ②コンサート・吹奏楽が聞きたい。 →3連続企画として、ハンドベル、歌、吹奏楽のクリスマスコンサートを実施（11・12月号） ③スタンプラリーをしたい。迷路で遊びたい。 →2つを組合せて「たんけん！クイズラリー&amp;めいろあそび」を実施（11・12月号実施） ④だるまさんがころんだ、ドッチボールがしたい。 →「PeacefulTime～ドッチボール&amp;だるまさんがころんだ～」を実施（1・2月号） ⑤みんなでダンスがしたい。 →「みんなで楽しくダンスを踊ろう！」を実施（1・2月号） ⑥科学の実験がみたい。 →「モジャ博士の世紀の科学実験ショー」を実施（1・2月号）</p> <hr/> <p><b>3) ふり返しシートの活用</b> ボランティアクルーが「ふり返しシート」を毎日記載し、来館者の様子や反省点などで行動に活かせる事項を「ちょっといい話」としてスタッフ間で共有。</p>	<p>A</p>	<p>1) アンケート結果について、より多くの人に見てもらえるようHPトップページへ掲載した。また、スタッフの積極的な声掛けによりアンケートの回収率の向上にも努めている。</p> <p>2) アンケートのみならず、直接子どもたちの意見を聴く場を設け、積極的に子どもたちのニーズ把握し、プログラムに反映にさせている。</p> <hr/> <p>2) 子どもの希望を踏まえたプログラムを実施するなど、アンケート結果を運営に反映するよう努めている。</p> <hr/> <p>3) ボランティアクルーが行動を振り返り、今後の活動に活かせる内容をピックアップしてクルー間で共有化することで、利用者の満足度向上につなげている。</p>	<p>A</p> <p>○アンケート結果がHPのトップページに掲載され目につきやすくなったが、事務的な印象があるため、キャラクターを入れるなど工夫されたい。</p>
----------------------	--	--	----------	--	--



評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
			S～C		S～C	
(2) その他創意工夫  〇よりなるサービスの向上に関する項目	その他、指定管理者によるサービス向上につながる 取組み、創意工夫 サービス向上につながる独自の取組みや創意 工夫を行っているか。	<b>〇指定管理者による独自の取組み、創意工夫</b> ①ボランティアプレイリーダーによる遊び援助 ②ベビーカーの貸し出し（5台） ③外国語（英語、中国、韓国）のパンフレット設置 ④点字パンフレットの設置 ⑤障がい者、介助者・引率者の減免 ⑥65歳以上の高齢者入館料半額免除 ⑦わかりやすい館内サインの設置 ⑧バス駐車場 20 台分の堺市と契約による確保 ⑨看護師の常駐 ⑩季節に合わせたディスプレイ（巨大クリスマスツリー、正月飾りなど） ⑪キッチン事業のスタンプカード配布 ⑫ビッグバンオリジナルプリクラ機の設置 ⑬誕生日新聞の設置 ⑭エントランススペースの活用（スノードーム、手作りキャンドル、文字アート等のワークショップほか） ⑮入館券付き乗車券の販売 ⑯コンビニでの前売＋ノベルティ付き親子チケット（3月～5月） ⑰ビッグアイ利用者に当館の利用促進を図る共同企画	A	創意工夫した様々な取組によりサービス向上を図っており、引き続き入館者数増加につなげるための取組みが期待される。	A	施設所管課の評価について、特に指摘・意見なし。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言																																			
			S~C		S~C																																				
<b>目 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項</b>	(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	事業収支計画に対する妥当性 ・提案の収支計画書に沿った運営がなされているか。 ・そのための事業収入の増加及び人件費の抑制、施設管理料等の節減等が行われているか。	対前年比、入館者数増に伴い 500 万円程度の増収を見込む一方、消費増税等の影響により支出増となるものの、全体として黒字計上を見込んでいる。	A	消費税増税等の影響により支出増となるものの、入館者数増に積極的に取り組み、全体として黒字計上を見込んでいる。	A	施設所管課の評価について、特に指摘・意見なし。																																		
	<b>※指定管理者提案 具体例</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>〔収入〕</th> <th>〔提案委託料〕</th> <th>〔総収入〕</th> <th>〔総支出〕</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>221,796 千円</td> <td>20,070 千円</td> <td>241,866 千円</td> <td>241,866 千円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>221,796 千円</td> <td>13,540 千円</td> <td>235,336 千円</td> <td>235,336 千円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>221,796 千円</td> <td>15,575 千円</td> <td>237,371 千円</td> <td>237,371 千円</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>221,796 千円</td> <td>17,533 千円</td> <td>239,329 千円</td> <td>239,329 千円</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>221,796 千円</td> <td>19,397 千円</td> <td>241,193 千円</td> <td>241,193 千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,108,980 千円</td> <td>86,115 千円</td> <td>1,195,095 千円</td> <td>1,195,095 千円</td> </tr> </tbody> </table>			〔収入〕	〔提案委託料〕	〔総収入〕	〔総支出〕	H28	221,796 千円	20,070 千円	241,866 千円	241,866 千円	H29	221,796 千円	13,540 千円	235,336 千円	235,336 千円	H30	221,796 千円	15,575 千円	237,371 千円	237,371 千円	H31	221,796 千円	17,533 千円	239,329 千円	239,329 千円	H32	221,796 千円	19,397 千円	241,193 千円	241,193 千円	計	1,108,980 千円	86,115 千円	1,195,095 千円	1,195,095 千円				
		〔収入〕	〔提案委託料〕	〔総収入〕	〔総支出〕																																				
H28	221,796 千円	20,070 千円	241,866 千円	241,866 千円																																					
H29	221,796 千円	13,540 千円	235,336 千円	235,336 千円																																					
H30	221,796 千円	15,575 千円	237,371 千円	237,371 千円																																					
H31	221,796 千円	17,533 千円	239,329 千円	239,329 千円																																					
H32	221,796 千円	19,397 千円	241,193 千円	241,193 千円																																					
計	1,108,980 千円	86,115 千円	1,195,095 千円	1,195,095 千円																																					
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	事業実施に必要な人員数の確保、配置従事者への管理監督体制・責任体制 ・提案どおりの職員体制を実施されているか。 また、そのための職員採用等の必要な策が講じられているか。 ・職員の指導育成、研修体制について、計画的に実施させているか。 <b>※指定管理者提案 具体例</b> ・職員体制：15 名（常勤 9 名、非常勤 6 名） （内訳：館長 1 名、管理部門 5 名、事業部門 9 名）	<b>1) 職員体制</b> 常勤の館長を配し、事業現場にて迅速かつ柔軟に判断を行い、来館者ニーズに応じている。 （常勤 9 名、非常勤 4 名） ----- <b>2) 職員の研修体制</b> ①安全管理、人権研修を実施。 ②児童厚生員や児童厚生施設管理職研修、職員研修等、外部研修にも参加するなど、職員の資質向上に努めている。 ③7 月／児童健全育成財団が行う遊びプログラム開発セミナーとして参画 9 月／児童健全育成財団が行う児童厚生員研修においてワークショップの講師を勤めるなど、指導的役割を果たすことを目指す。	A	1) 提案通り館長を常勤化し、責任体制の強化を図るとともに適正な職員体制を確保している。 ----- 2) 指定管理者が実施する研修のほか、外部研修にも職員を参加させており、適正な研修体制が確保されている。 また、児童厚生員研修における講師を務めるなど指導的役割を果たした。 ----- 以上のことから適正な人員配置及び安定的な運営が可能となる人的能力が確保されている。	A	施設所管課の評価について、特に指摘・意見なし。																																			
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人の経営状況 ・指定管理期間（5 年間）を踏まえた継続的、安定的運営の視点で、指定管理者の経営規模・事業規模・財務状況は適正か。	今年度の資金収支では、約 2,900 万円の黒字となる見込み。前期繰越金を加えると約 4 億円の手持ち資金がある。しかし、29 年度において、耐震補強工事、設備改修工事（約 4 億 1,400 万円）を実施したため、毎年減価償却費を約 4,000 万円計上することにより、正味財産が若干減少するが、資産超過（正味財産約 16 億円）の状況であり、法人の経営には支障はないと考える。	A	黒字となる見込みであり、法人の経営状態は安定しており指定管理業務の受託には問題ないと認められる。	A	施設所管課の評価について、特に指摘・意見なし。																																			